

2012 年 12 月 19 日

報道関係者各位

アットホーム株式会社

トレンド調査 — 「一人暮らしの実状と部屋探しについて」アンケート結果(首都圏) —**学生が希望する家賃は、現在の家賃に比べて 9 千円安い。
社会人女性は 1.22 万円も安く、将来への不安を映す結果に。**

不動産情報サービスのアットホーム株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役:松村文衛)では、このたび、首都圏で一人暮らしをしている 18~29 歳の学生・社会人計 800 人を対象に、「一人暮らしの実状と部屋探しについて」アンケート調査を実施、その結果をまとめましたのでご案内いたします。

■「一人暮らしの実状と部屋探しについて」アンケートの主な調査結果

- 現在の平均家賃は、学生が 5.60 万円で、前回調査比 2.7 千円減。
社会人の平均は 6.11 万円で、同 3.8 千円減。
- 現在の間取りは「1K」が最多。社会人は学生より「ワンルーム」が 10 ポイント以上少ない。
希望の間取りは学生でも「ワンルーム」が一ケタ、社会人男性は「1LDK」以上が 55.5%に。
- 重視する設備は「独立したバス・トイレ」がダントツ、「防音(遮音)」も人気。
重視する環境(立地)のトップ 3 は、「最寄り駅」「スーパーの近さ」「治安」。
- 写真・動画を見たい、または見て良かったと思うトップ 3 は「風呂」「トイレ」「キッチン」で、
女子・女性には必須の情報。
- 住まい探しは“1 社に問い合わせをし、1 社を訪問し、1~3 物件を内見”が平均像。
件数は、いずれも学生より社会人、男性より女性の方が多い傾向。

■調査概要

- | | |
|---------|--|
| (1)調査機関 | 2012 年 9 月 27 日(木)~同 10 月 3 日(水)の 7 日間 |
| (2)調査方法 | インターネットによるクローズド調査 |
| (3)調査対象 | 首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)で一人暮らしをしている、
18~29 歳の学生の学生 400 人・社会人 400 人、計 800 人 |
| (4)調査項目 | 1. 住まいについて(現状と希望) 2. 住まい探しについて |

※本リリースは調査結果(全 44 ページ)の一部であり、“現在の住まい”について省略している項目、学生・社会人の一方のみを紹介している項目があります。また、本調査は他に 5 項目行っております。(築年数、住まいの探し方、不動産会社へ問い合わせする時間帯、問い合わせメール・電話への返信期限、契約までにかかった期間)

必要な情報がございましたら、20 ページの問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

目 次

I.調査の概要	2
1.調査の目的・対象等	2
2.有効回答数および回答者の内訳	2
II.調査結果	4
1.住まいについて	
①－a. c 現在の家賃は？(学生)(社会人)	4・6
－b. d 希望の家賃は？(学生)(社会人)	5・7
②－a. b 現在の間取りタイプ、希望の間取りタイプは？(学生)(社会人)	8・9
③－a. b 希望の最寄り駅から自宅までの所要時間は？(学生)(社会人)	10・11
④－ 今後住まいを探すとしたら重視することは？(学生)	12
⑤－ 今後住まいを探すとしたら重視する「設備」は？(社会人)	13
⑥－ 今後住まいを探すとしたら重視する「環境(立地)」は？(社会人)	14
2.住まい探しについて	
①－ 住まいを探した際、基本情報以外に「あって良かった」情報は？(学生)	15
②－ 住まいを探した際、基本情報以外に「なくて不便だ」と感じた情報は？(学生)	16
③－ 写真・動画を見たいと思った、または見て良かったと思うのはどの部分ですか？(社会人)	17
④－ 現在の住まいを探した際、問い合わせ、訪問した不動産会社数、内見した物件数は？(学生)(社会人)	18
⑤－ 不動産会社を選んだポイントは？(学生)(社会人)	19

I. 調査の概要

1. 調査の目的・対象等

①目的

本調査は、首都圏で一人暮らしをしている学生と社会人の現在の住まいと、希望する住まいの家賃、住居形態、間取り、設備などについてのトレンドを把握するための意識調査です。

②方法

インターネットによるアンケート調査

③対象

首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)で一人暮らしをしている18～29歳の学生・社会人

④期間

平成24年9月27日(木)～同10月3日(水)の7日間

2.有効回答数および回答者の内訳

①-1 エリア別有効回答数とその合計

	学生(人数)			社会人(人数)			全体(人数)		
	男子	女子	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体
東京都	50	50	100	50	50	100	100	100	200
神奈川県	50	50	100	50	50	100	100	100	200
埼玉県	45	50	95	50	50	100	95	100	195
千葉県	55	50	105	50	50	100	105	100	205
首都圏	200	200	400	200	200	400	400	400	800

①-2 職業

- ・学生・・・大学生、大学院生、専門学校生、その他
- ・社会人・・・会社員、公務員、その他

②毎月の収入(学生は家賃を含み、学費を除く)

首都圏

	学生			社会人		
	全体	男子	女子	全体	男性	女性
仕送りをもらっている人の割合	82.3%	81.5%	83.0%	7.0%	6.5%	7.5%
仕送りの平均	7.26万円	7.42万円	7.09万円	5.57万円	5.69万円	5.47万円
総収入の平均	13.12万円	12.92万円	13.35万円	20.57万円	21.28万円	19.87万円

【前回(平成23年9月実施)調査】

	学生			社会人		
	全体	男子	女子	全体	男性	女性
仕送りをもらっている人の割合	72.2%	67.6%	76.6%	1.3%	-	2.6%
仕送りの平均	7.03万円	7.24万円	6.81万円	3.13万円	-	3.13万円
総収入の平均	14.43万円	15.71万円	13.16万円	21.40万円	22.73万円	20.07万円

《ご参考》

札幌・仙台エリア

中部エリア

	学生			社会人		
	全体	男子	女子	全体	男性	女性
仕送りをもらっている人の割合	86.0%	82.0%	90.0%	8.0%	6.0%	10.0%
仕送りの平均	7.28万円	7.26万円	7.29万円	5.25万円	5.33万円	5.20万円
総収入の平均	12.47万円	12.21万円	12.80万円	18.13万円	18.52万円	17.74万円

	学生			社会人		
	全体	男子	女子	全体	男性	女性
仕送りをもらっている人の割合	87.0%	86.0%	88.0%	8.0%	10.0%	6.0%
仕送りの平均	6.49万円	6.42万円	6.56万円	2.50万円	2.00万円	3.33万円
総収入の平均	12.96万円	12.83万円	13.20万円	19.68万円	20.91万円	18.46万円

近畿エリア

福岡エリア

	学生			社会人		
	全体	男子	女子	全体	男性	女性
仕送りをもらっている人の割合	84.0%	81.3%	86.7%	11.3%	12.0%	10.7%
仕送りの平均	6.86万円	6.55万円	7.14万円	2.59万円	2.17万円	3.06万円
総収入の平均	13.05万円	13.00万円	13.11万円	20.86万円	22.90万円	18.87万円

	学生			社会人		
	全体	男子	女子	全体	男性	女性
仕送りをもらっている人の割合	85.0%	78.0%	92.0%	13.0%	20.0%	6.0%
仕送りの平均	6.20万円	6.51万円	5.94万円	4.27万円	3.95万円	5.33万円
総収入の平均	14.19万円	16.07万円	12.65万円	18.03万円	17.61万円	18.45万円

Ⅱ. 調査結果－1.住まいについて

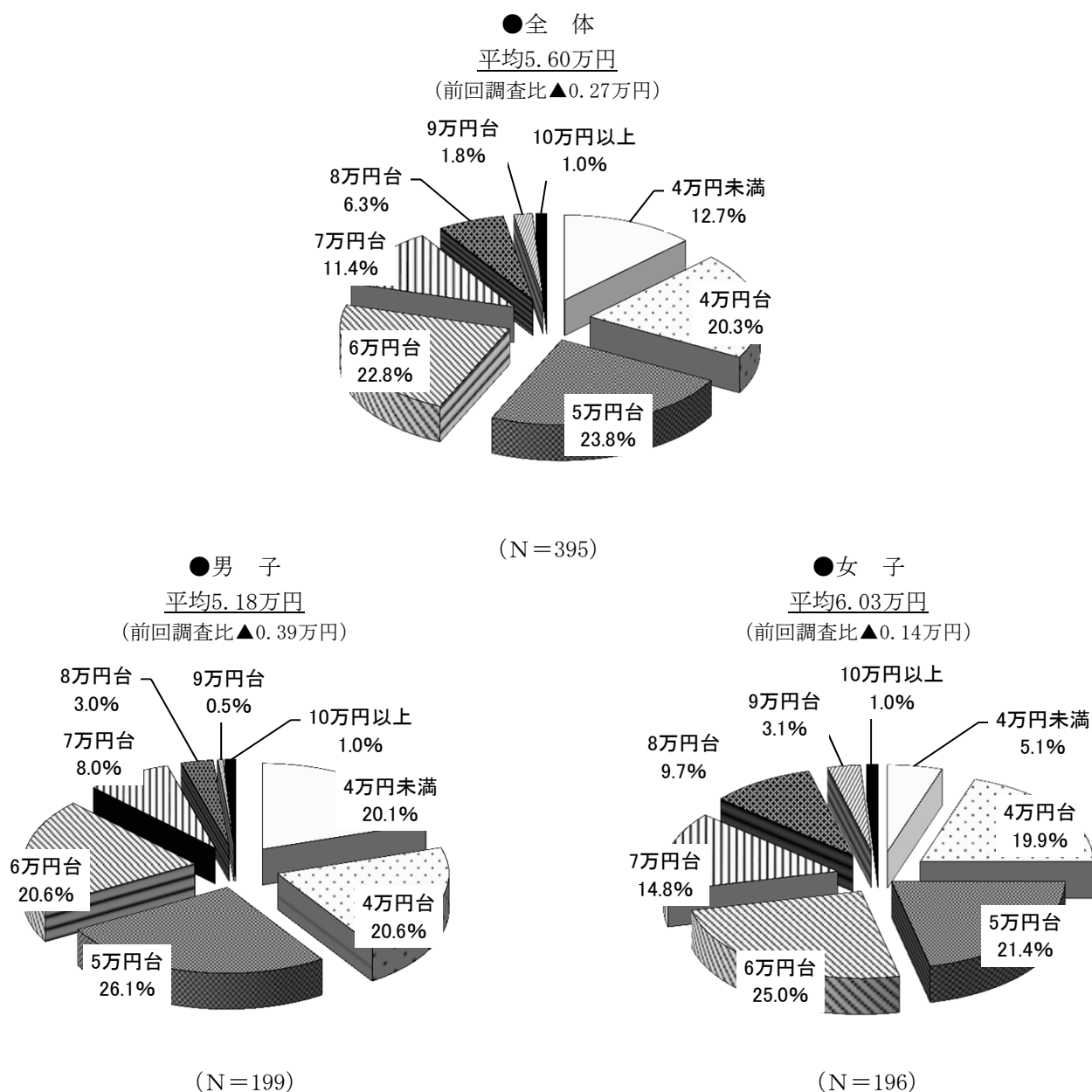
① - a 現在の家賃は？

学生

学生が現在負担している家賃の平均は5.60万円で、前回調査比▲2.7千円。
女子の平均は6.03万円と、男子を8.5千円上回る。

学生に現在の家賃を聞いたところ、最も多かった回答は「5万円台」で23.8%、以下「6万円台」(22.8%)、「4万円台」(20.3%)と続き、平均は前回調査比2.7千円減の5.60万円でした。

これを男女別に見ますと、「7万円台」以上の合計が、男子12.5%、女子28.6%と17.1ポイントもの差があるなど女子の家賃負担は大きく、平均は、男子5.18万円、女子6.03万円で、女子の方が8.5千円高いという結果でした。



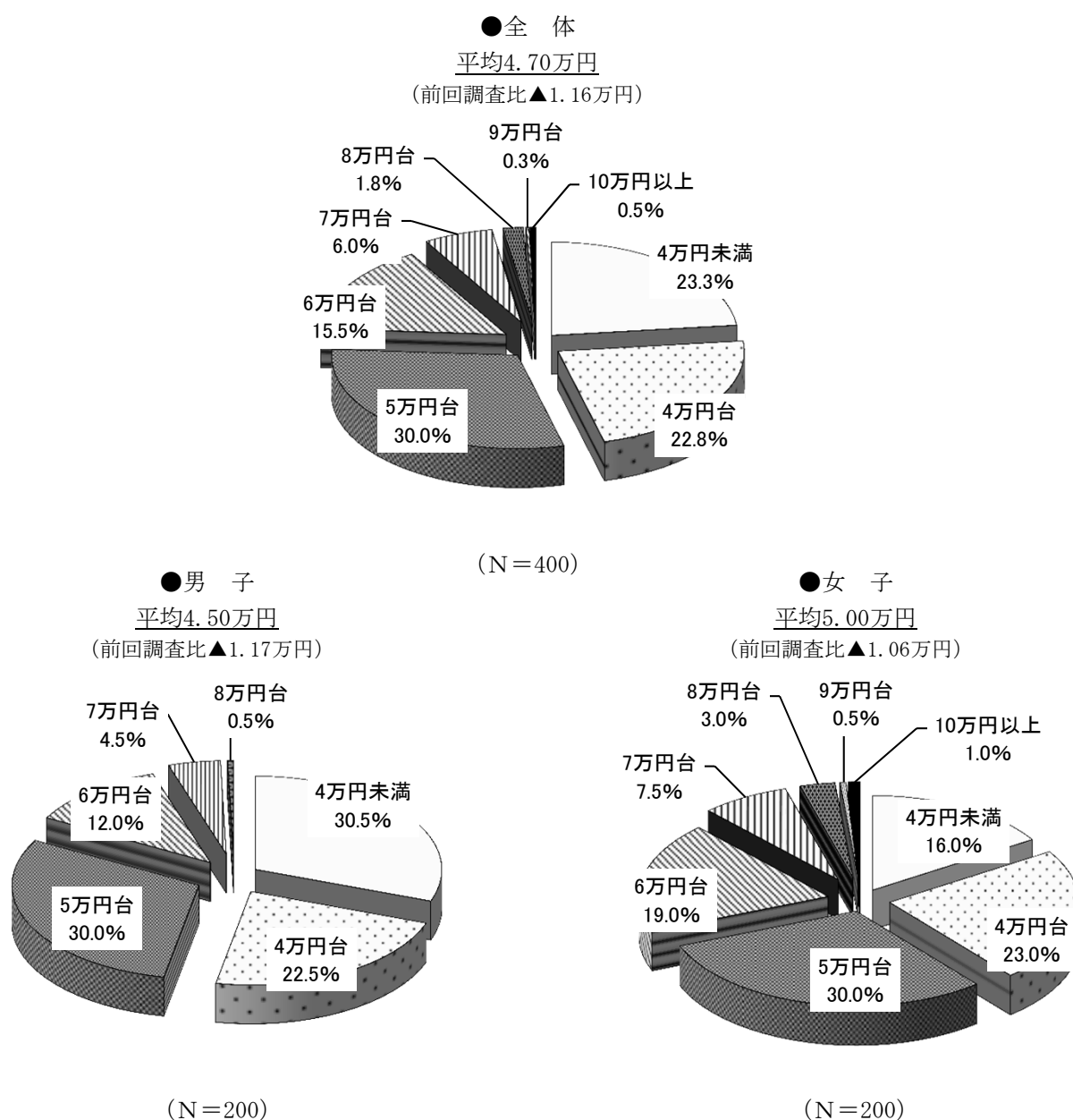
① - b 希望の家賃は？

学生

今の生活は厳しい？希望家賃の平均は、現状より9千円安い4.70万円に。
特に女子は、1万円以上安い家賃を希望。前回調査比も大きく下落。

学生に希望の家賃を聞いたところ、平均は現状より9千円安い4.70万円となりました。男女別では、男子が同6.8千円減の4.50万円、女子は同1.03万円減の5.00万円となり、前回調査比も、男女とも1万円を超える減少となっています。

総収入(3ページ)から現在の家賃を引くと7.5万円、これが8.5万円になれば余裕のある暮らしができると考えているのか、それとも少しでも仕送りを減らし親の負担を軽くしたいと考えているのでしょうか。



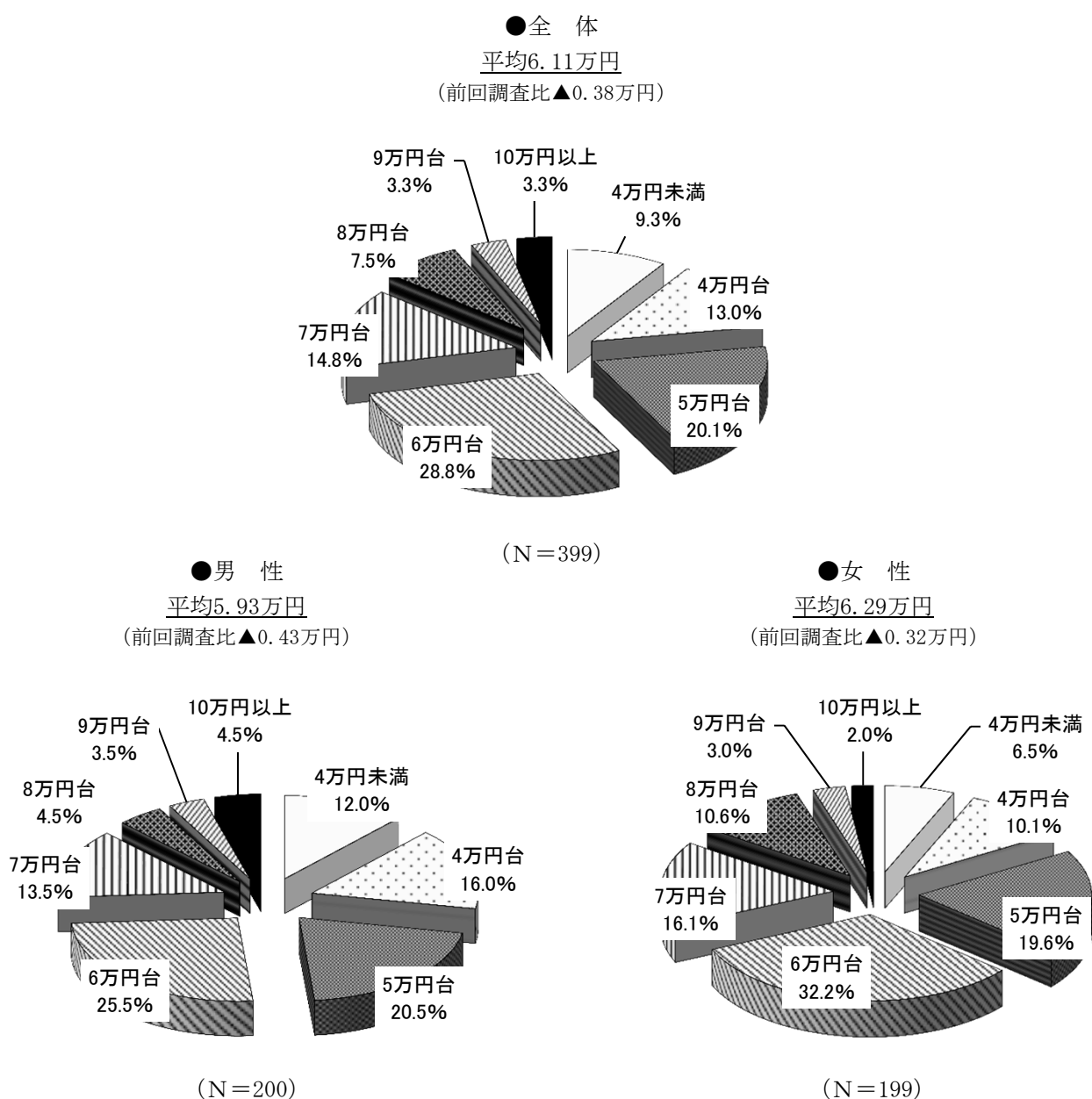
① - c 現在の家賃は？

社会人

社会人の平均家賃は、学生より5.1千円高い6.11万円。
男性の平均は5.93万円で、男子学生より7.5千円も高いが、女性より3.6千円安い。

社会人の現在の家賃で最も多かった回答は「6万円台」(28.8%)で、平均は前回調査比3.8千円減の6.11万円となり、学生より5.1千円高いという結果でした。

また男性の平均は5.93万円で、男子学生より7.5千円も高く、収入の差(3ページ)の影響がうかがえます。ただ、男性より収入が1.4万円少ない女性の方が家賃が3.6千円高くなっており、住まいに対する考え方も違うようです。



① - d 希望の家賃は？

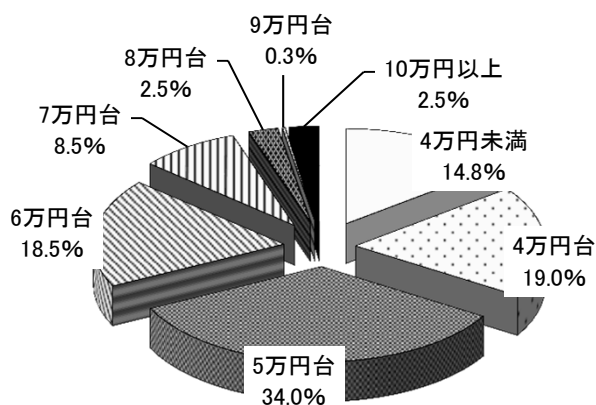
社会人

社会人の希望家賃の平均は、男性が5.23万円で、現状比7千円安い。女性と同1.22万円安く、学生との差も僅か、将来への不安を映す結果に。

社会人が希望する家賃は、現状「6万円台」だった最多回答が「5万円台」に低下、また平均は5.15万円と現状より9.6千円安くなり、かなり慎重になっている姿がうかがえます。

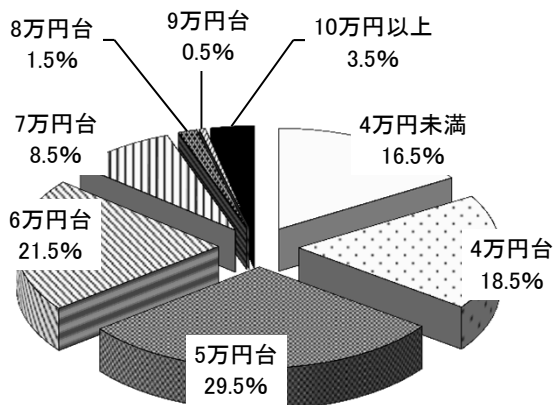
男女別では、男性が現状比7千円減の5.23万円となったものの、男子学生より7.3千円高いという結果に。一方、女性は同1.22万円減の5.07万円と、女子学生との差は700円にとどまり、女性の家賃負担力の低下が目立っています。将来への不安から、少しでも貯蓄にまわそうと考えているのかもしれません。

●全 体
平均5.15万円
(前回調査比▲1.39万円)



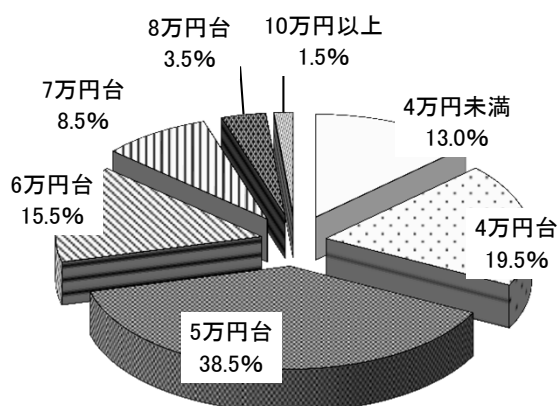
(N=400)

●男 性
平均5.23万円
(前回調査比▲1.45万円)



(N=200)

●女 性
平均5.07万円
(前回調査比▲1.34万円)



(N=200)

② - a 現在の間取りタイプ、希望の間取りタイプは？

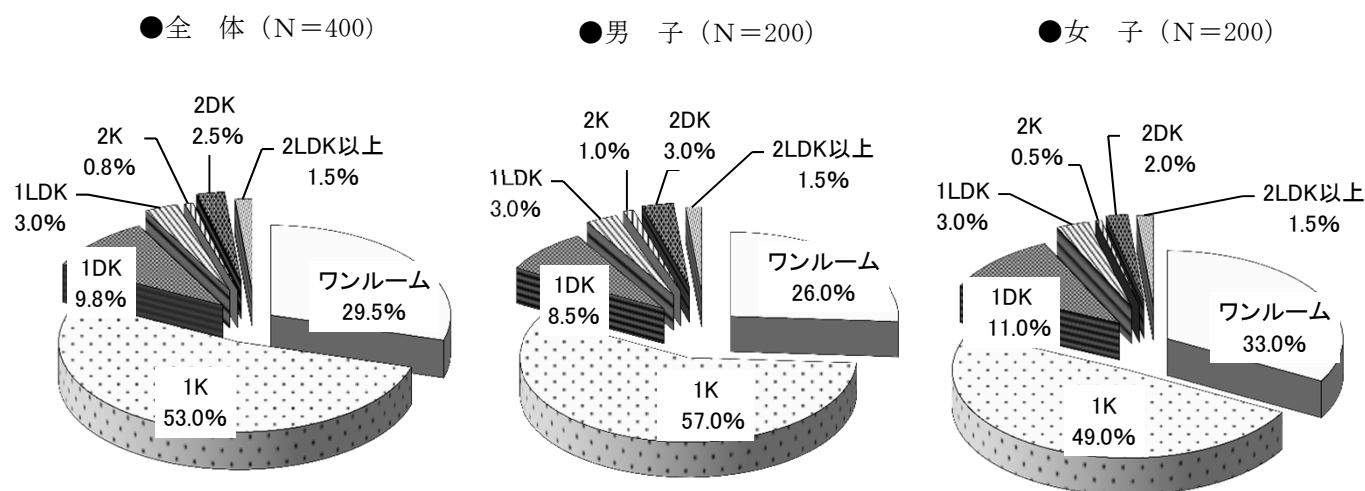
学生

現在は、8割以上が「1K」または「ワンルーム」に住んでいる。
希望の間取りは「1DK」「1LDK」が大幅増、「ワンルーム」は一ケタに。

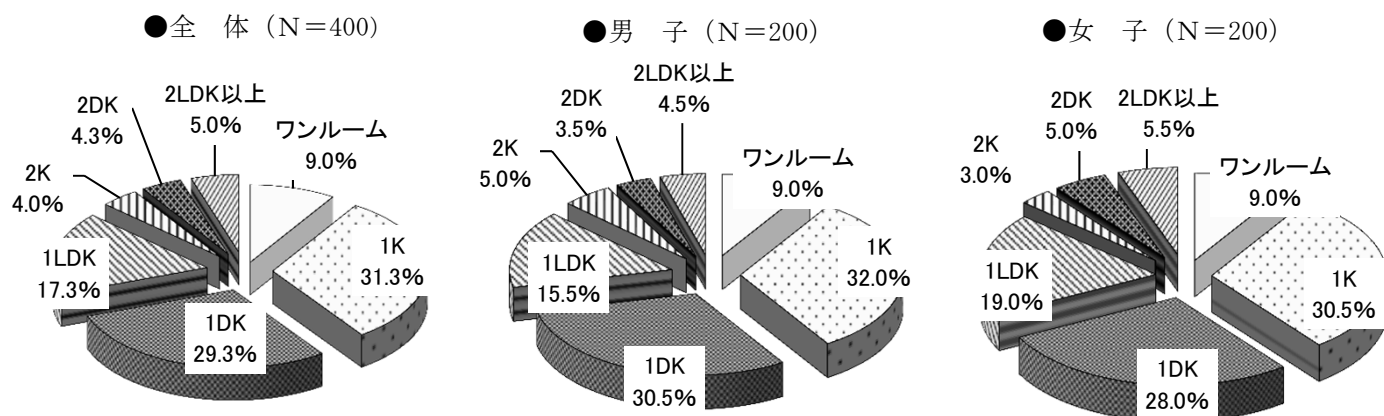
学生の現在の住まいの間取りタイプは、男女ともに「1K」がトップ、次いで「ワンルーム」となり、8割以上が「1K」または「ワンルーム」に住んでいることが分かりました。また男子は、「1K」が57.0%と6割に迫り、女子に比べ“ワンルームより1K”と考える傾向が強いようです。

一方、希望の間取りタイプは、「1K」が最多となったものの割合は男女ともに3割強にとどまり、「ワンルーム」も一ケタに減少。一方で「1DK」「1LDK」が大幅に増加し、女子の約2割は「1LDK」を希望しているという結果でした。

【現在の間取りタイプ】



【希望の間取りタイプ】



② - b 現在の間取りタイプ、希望の間取りタイプは？

社会人

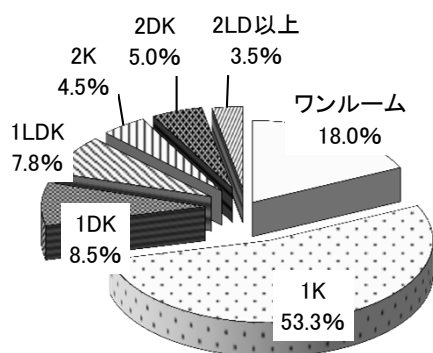
社会人も、学生同様「1K」が最多だが、「ワンルーム」は10ポイント以上少ない。
希望の間取りでは「1LDK」が最も多く、男性は「1LDK」以上希望が55.5%に。

社会人の現在の住まいの間取りタイプも、学生同様「1K」が最多となっていますが、「ワンルーム」の割合が18.0%と学生を10ポイント以上下回り、「1DK」以上が3割弱となるなど、学生よりかなり広いことが分かりました。

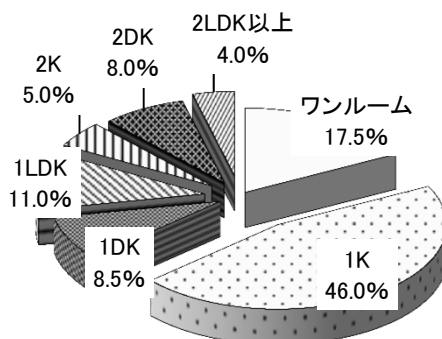
また希望の間取りタイプは、「1LDK」が27.5%と最も多く、現状を19.7ポイントも上回り、学生とは比べものにならないほど広い住まいを求めています。特に男性は、「1LDK」以上を希望している人が55.5%と女性より13ポイントも多くなっており、より住空間を重視している姿がうかがえます。

【現在の間取りタイプ】

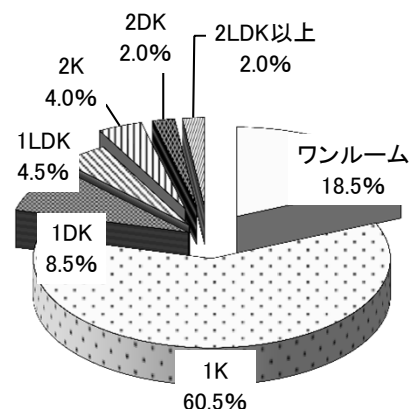
● 全 体 (N=400)



● 男 性 (N=200)

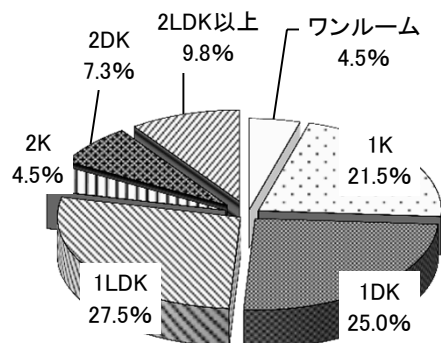


● 女 性 (N=200)

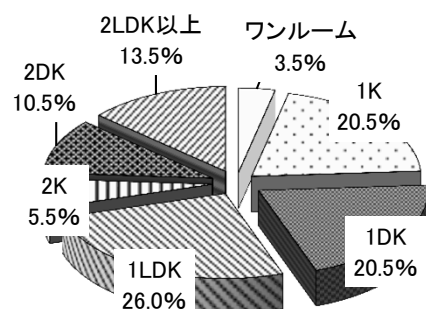


【希望の間取りタイプ】

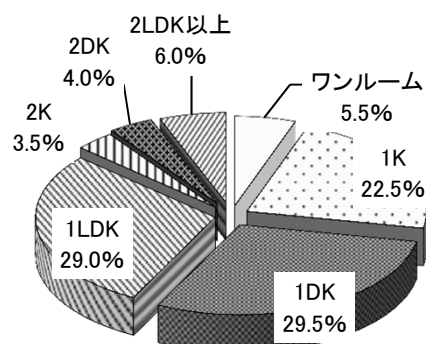
● 全 体 (N=400)



● 男 性 (N=200)



● 女 性 (N=200)



③ - a 希望の最寄り駅から自宅までの所要時間は？

学生

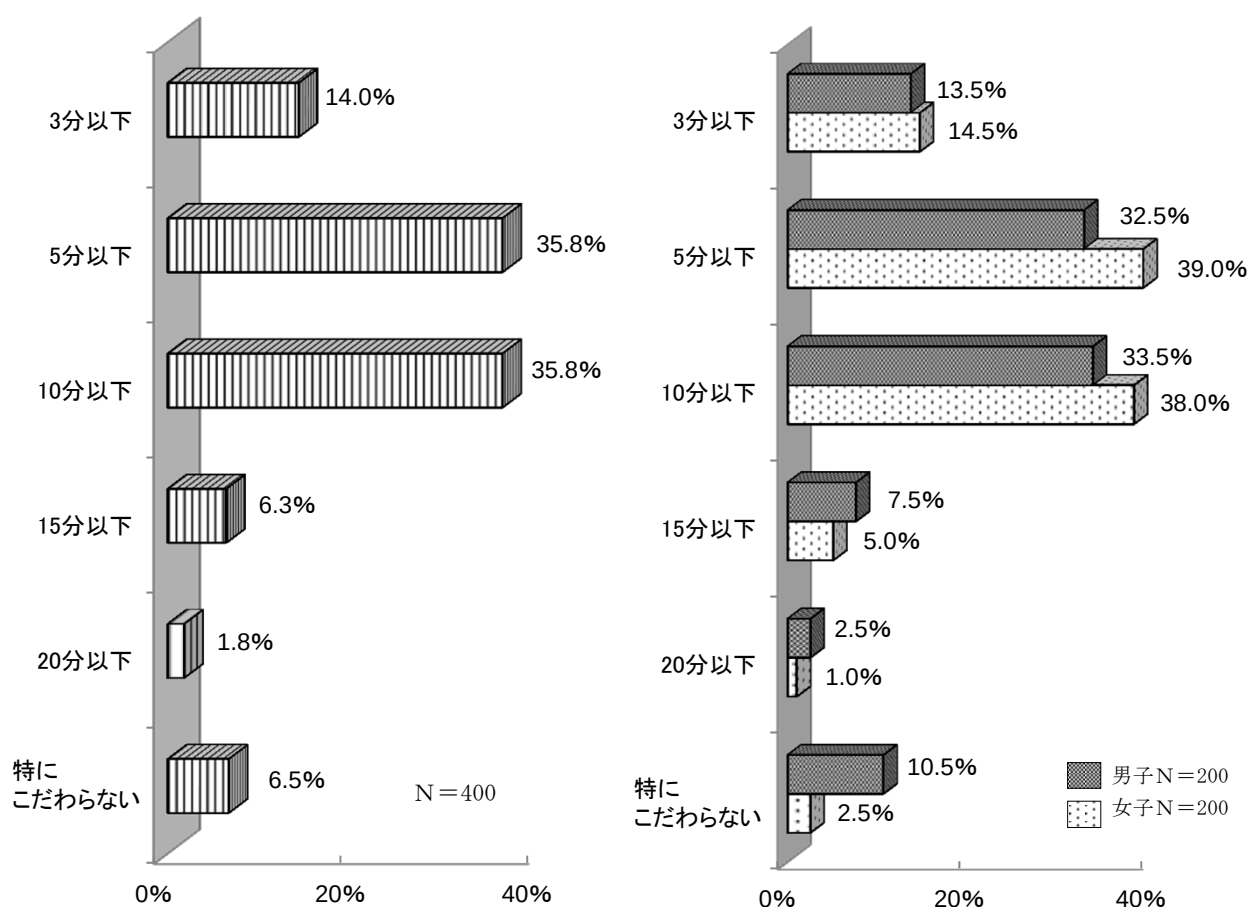
**“駅近”希望増える。「5分以下」の回答は、現状比約2倍に。
また女子は10分以下の合計が9割を超える。**

学生の希望の所要時間は、「5分以下」と「10分以下」がともに35.8%でトップに。特に「5分以下」の回答は、現状の約2倍となり、さらに“駅近”を望む人が増えています。

また、女子は「5分以下」が39.0%と最も多く、10分以下の合計が9割を超えている一方、「こだわらない」人は2.5%と男子を大きく下回り、住まいの立地に不満を持っていることが分かります。

●全 体

●男女別



③ - b 希望の最寄り駅から自宅までの所要時間は？

社会人

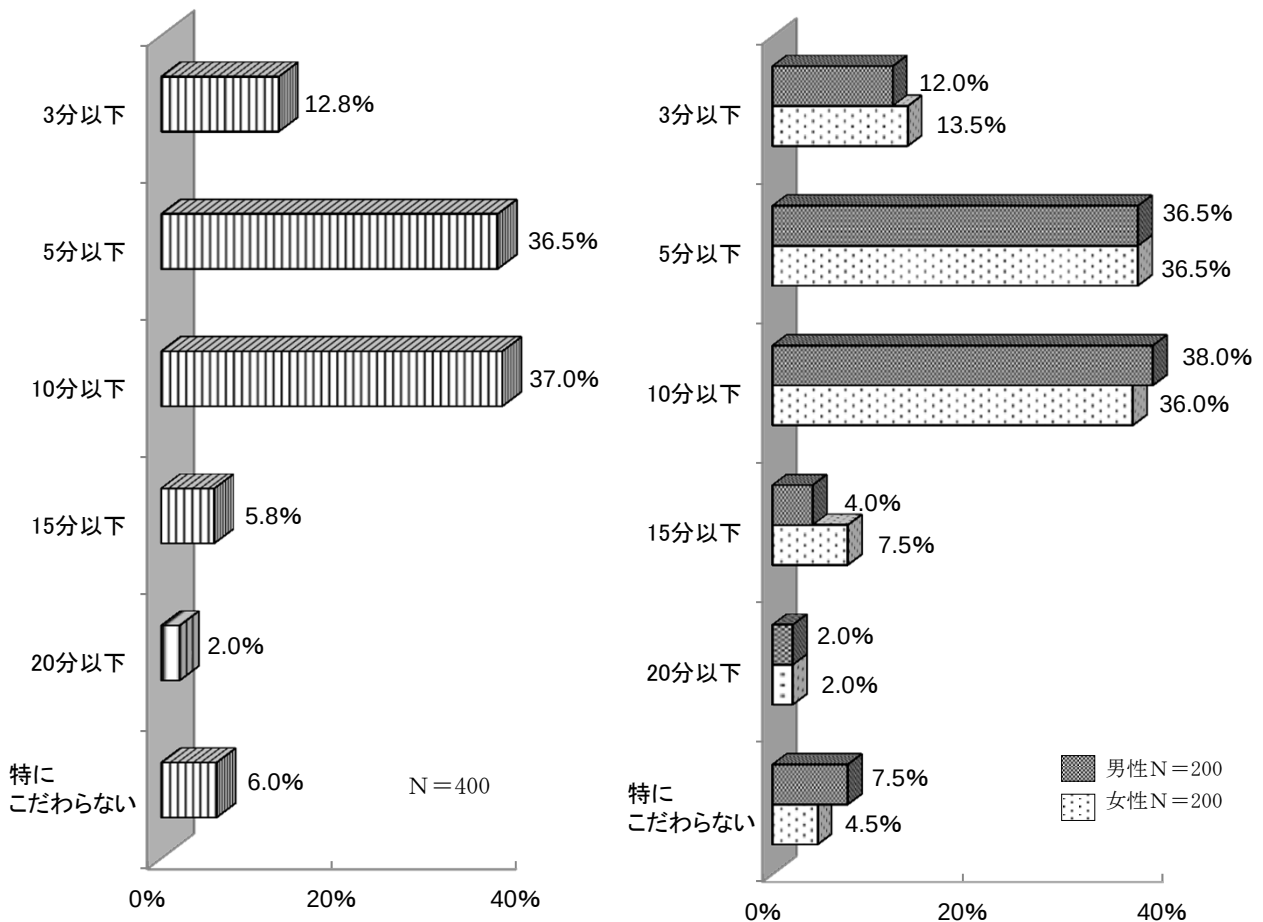
やはり、朝の“5分”は貴重！「5分以下」希望が18.2ポイント増える。
男性の「15分以下」の回答は24ポイント減、僅か4%に。

社会人の希望の所要時間は、現状同様「10分以下」が37.0%でトップ。次いで、「5分以下」が現状より18.2ポイントも多い36.5%となり、この2つの回答が他を大きく引き離しています。

また、現状3割近くが「15分以下」のところに住んでいる男性も、実際に暮らしてみて不便さに気づいたようで、「15分以下」希望は24.0ポイント減少し、僅か4.0%となりました。

●全 体

●男女別



④ 今後住まいを探すとしたら重視することは？(複数回答)

学生

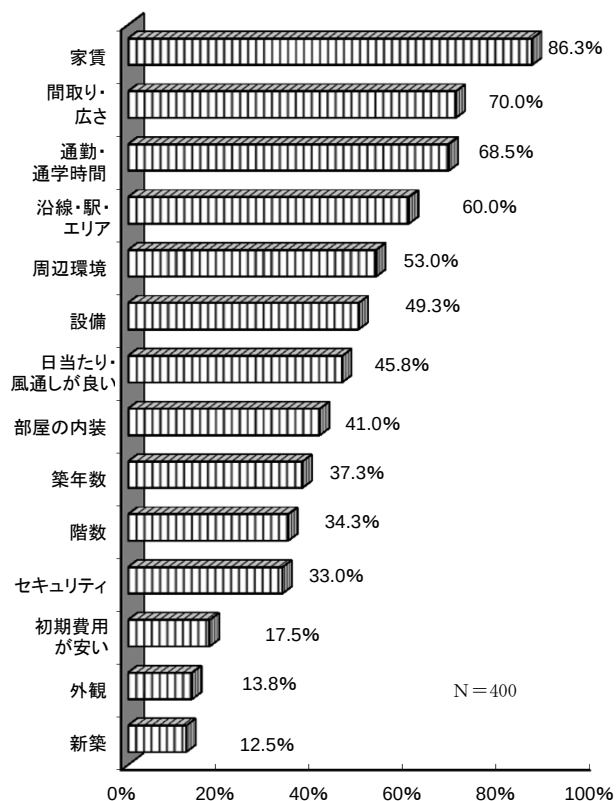
「家賃」は今後の住まい探しでもトップに。また、回答率は全項目で上昇、特に「日当たり・風通しが良い」と「周辺環境」の上昇目立つ。

学生が今後の住まい探しで重視することのトップも「家賃」で、現在の住まいを探した時を12.5ポイント上回る86.3%に。2位には、男子の方がこだわりを見せる「間取り・広さ」(70.0%)がランクインしています。

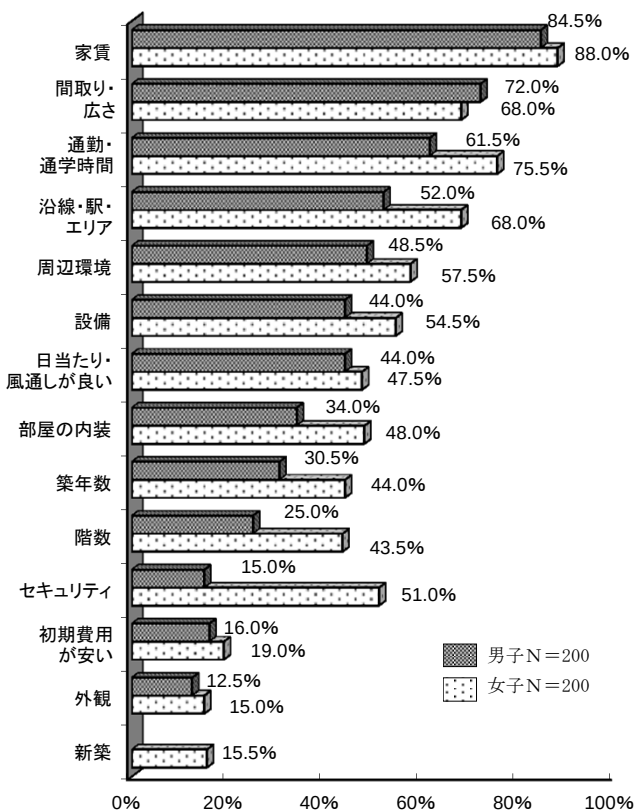
また、一人暮らしをしてみても分かることも多いらしく、回答率はすべての項目で現在の住まい探しより上昇、特に「日当たり・風通しが良い」は19.5ポイント、「周辺環境」は17.5ポイントも上昇しました。

※回答率が10%以上の項目

●全 体



●男女別



⑤ 今後住まいを探すとしたら重視する「設備」は？(複数回答)

社会人

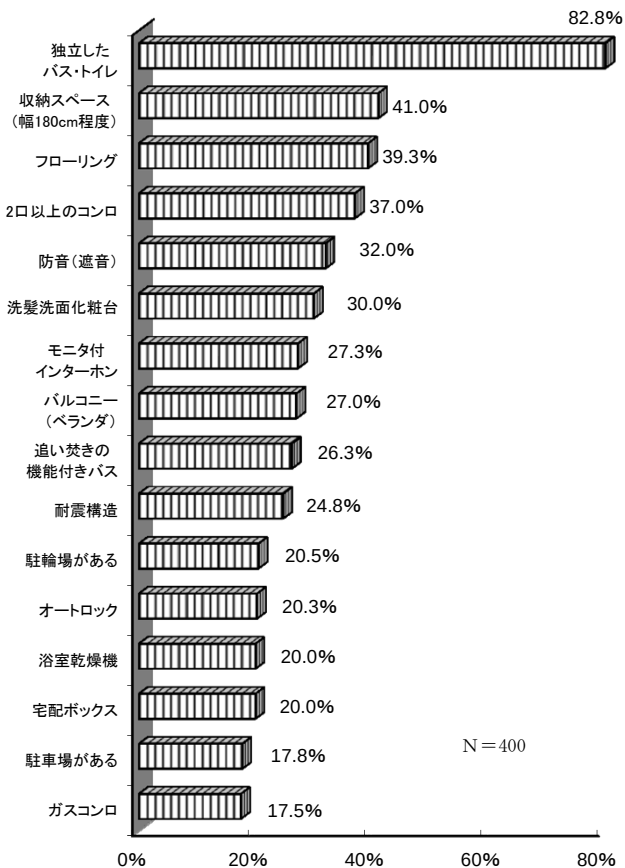
今後重視する設備でも、「独立したバス・トイレ」が圧倒的人気。
また、現在の住まい探しで圏外だった「防音(遮音)」が5位にランクイン。

社会人が今後の住まい探しで重視する設備でも、「独立したバス・トイレ」が圧倒的人気を誇り、女性は約9割を占めました。

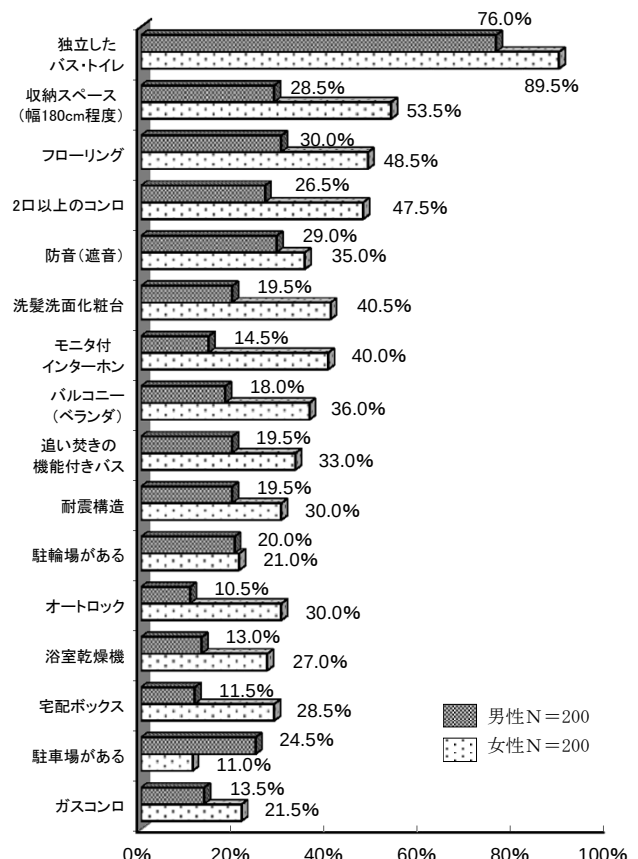
また、現在の住まいを探した際には圏外だった「防音(遮音)」が5位にランクインしたほか、男女とも回答率の上昇している項目が目立ちます。加えて女性は、「駐車場」を除くすべての項目で男性より回答率が高く、現在の住まいに強い不満を感じているのかもしれません。

※回答率が、男性・女性のいずれかで20%以上の項目

●全 体



●男女別



⑥ 今後住まいを探すとしたら重視する「環境(立地)」は？(複数回答・トップ10)

社会人

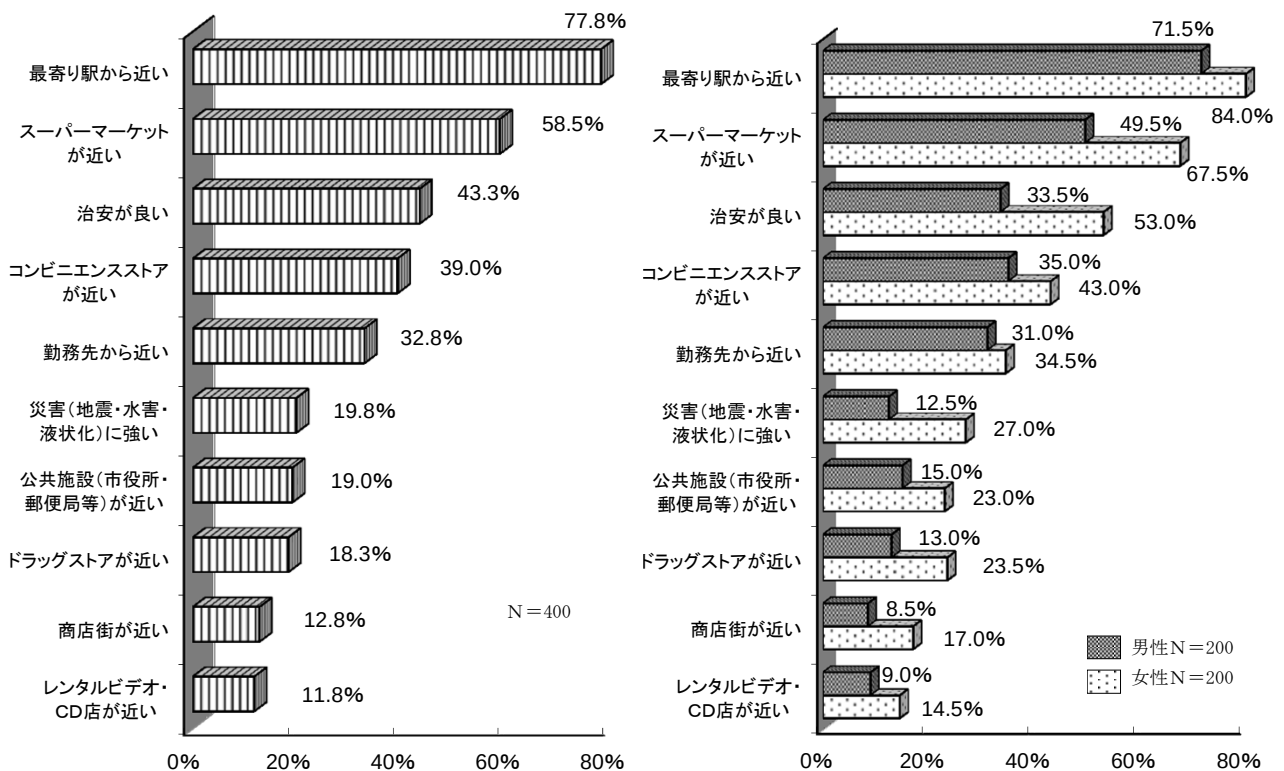
今後重視する環境(立地)のトップ3は、「最寄り駅」「スーパー」「治安」。
女性は「災害に強い」が大幅増、震災が住まい探しに大きく影響。

今後重視する環境(立地)のトップは「最寄り駅から近い」で、女性の回答率は、現在の住まいを探した時より18.0ポイント上昇し84.0%に。以下、「スーパーマーケットが近い」「治安が良い」と続いています。

回答率が最も上昇したのは「スーパーマーケットが近い」で、上昇幅は全体で16.0ポイント、女性では20ポイントを超えました。また女性は、「災害(地震・水害・液状化)に強い」が22.5ポイントも上昇、回答率は男性の2倍以上となっており、震災が女性の住まい探しに大きく影響していることも分かりました。

● 全 体

● 男女別



2.住まい探しについて

① 住まいを探した際、基本情報以外に「あって良かった」情報は？（複数回答）

学生

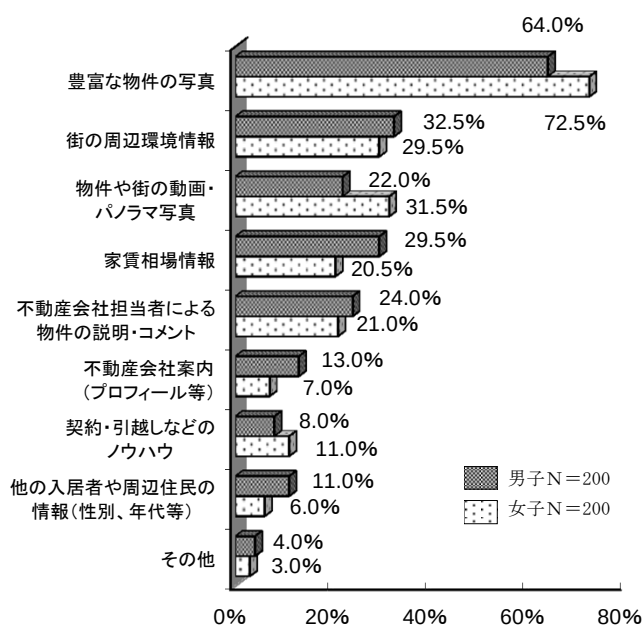
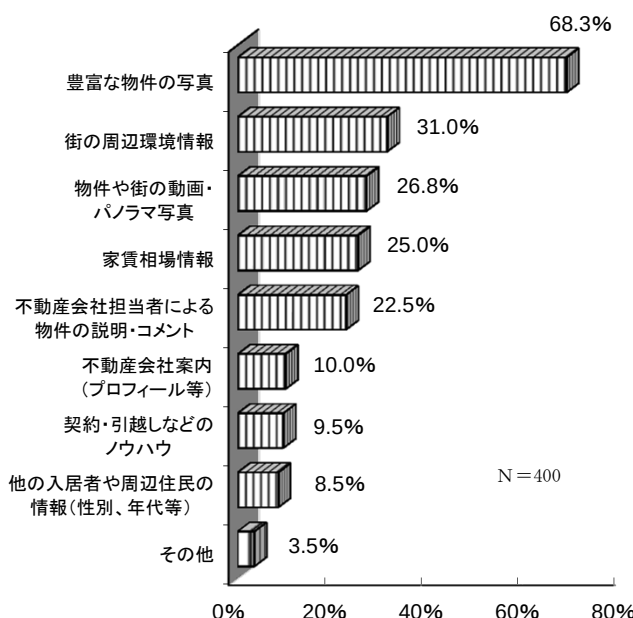
学生が“あって良かった”と感じた情報のトップは「豊富な物件の写真」。以下、「街の周辺環境情報」「物件や街の動画・パノラマ写真」と続く。

学生が住まいを探した際に、基本情報以外に“あって良かった”と感じた情報のトップは、男女ともに「豊富な物件の写真」(68.3%)で、2位は「街の周辺環境情報」(31.0%)に。以下、「物件や街の動画・パノラマ写真」「家賃相場情報」「不動産会社担当者による物件の説明・コメント」の3項目の回答率が20%を超えています。

また、女子は男子に比べ、物件写真の豊富さや、動画・パノラマ写真の回答率が高く、より感覚的な情報を求めていることが分かります。

● 全 体

● 男女別



② 住まいを探した際、基本情報以外に「なくて不便だ」と感じた情報は？（複数回答）

学生

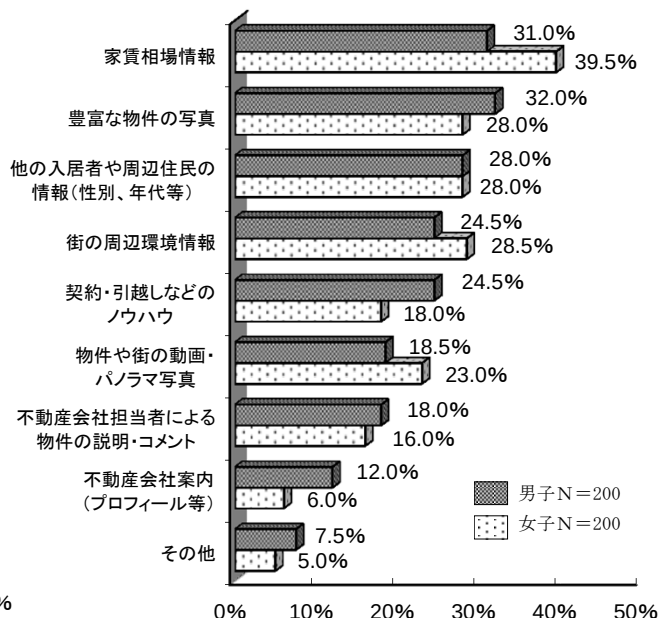
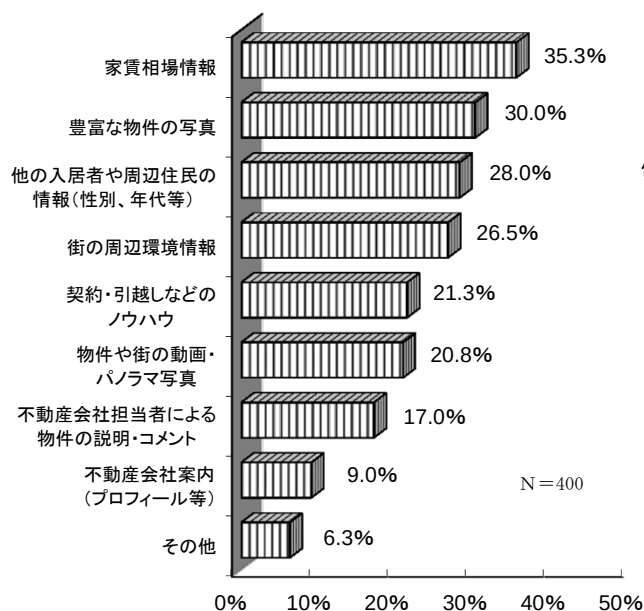
学生が“なくて不便だ”と感じた情報については、「家賃相場情報」が最多。
2位は、“あって良かった”情報でトップとなった「豊富な物件の写真」に。

学生が住まいを探した際に“なくて不便だ”と感じた情報は、「家賃相場情報」が最多に。また2位は、“あって良かった”情報でトップとなった「豊富な物件の写真」となりました。入居者募集にあたっては、“写真”をたくさん掲載しないと、物件選択の比較対象からはずされてしまう可能性もあるということでしょうか。

なお、3位となった「他の入居者や周辺住民の情報(性別・年代等)」については、今後、物件や近隣住民のおおよその男女比、世帯構成など、個人情報に触れない程度の情報の提供が必要になるかもしれません。

●全 体

●男女別



③ 写真・動画を見たいと思った、または見て良かったと思うのは
どの部分ですか？(複数回答)

社会人

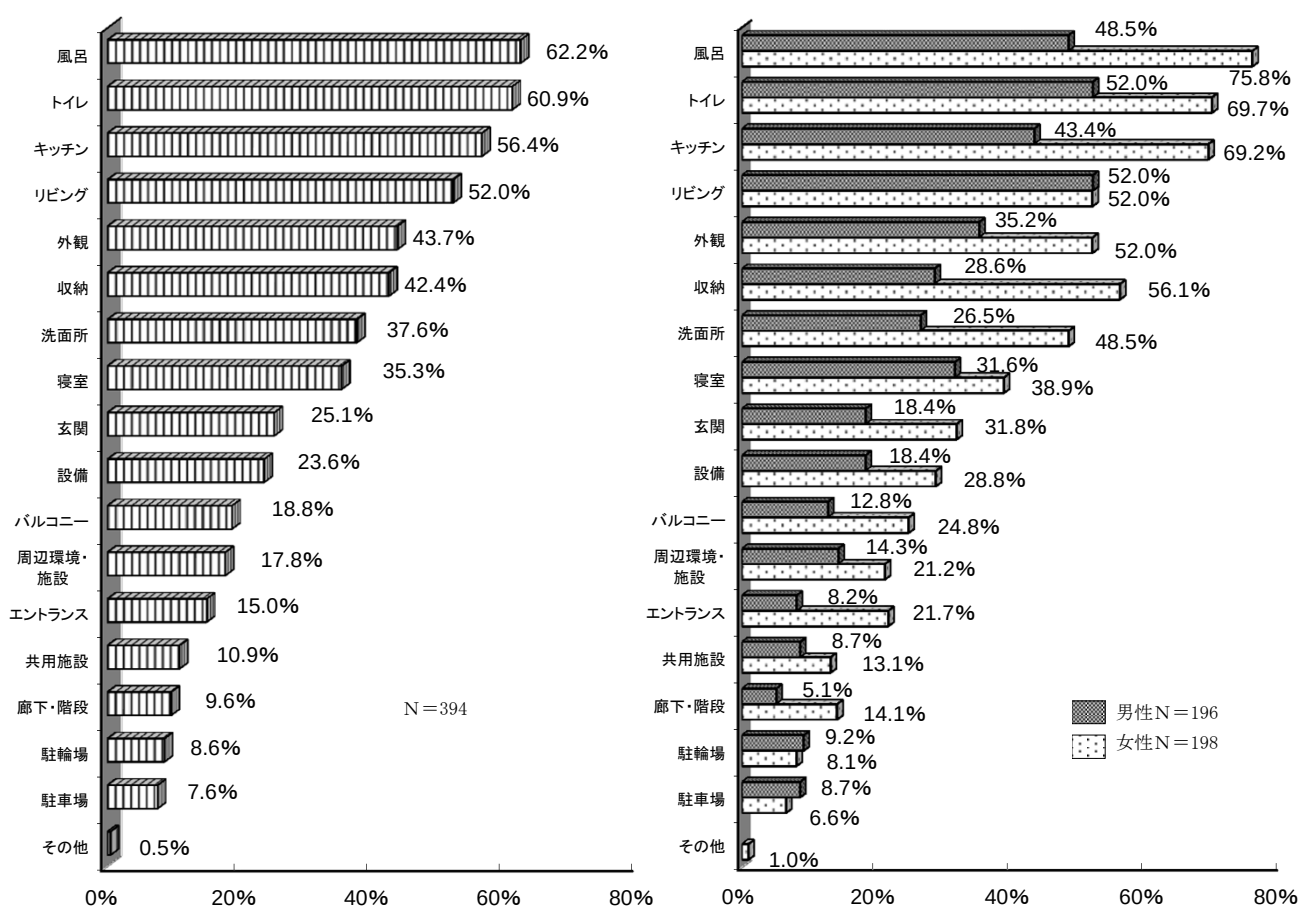
社会人が物件の写真・動画を見たかった、見て良かったと思うトップ3も
「風呂」「トイレ」「キッチン」で、女性の回答率は女子学生よりさらに高い。

社会人が物件の写真・動画を見たいと思った、または見て良かったもののトップ3も、学生同様「風呂」(62.2%)、「トイレ」(60.9%)、「キッチン」(56.4%)でした。

また女性の回答率は、「風呂」が75.8%となるなど女子学生よりさらに高く、回答率が50%を超える上位6項目の写真・動画を提供していない物件は、社会人女性に選ばれる可能性が低くなるかもしれません。

●全 体

●男女別



④ 現在の住まいを探した際、
問い合わせ、訪問した不動産会社数、内見した物件数は？

学生

社会人

“1社に問い合わせをし、1社を訪問し、1～3物件を内見”が平均像。
いずれも、学生より社会人、男性より女性の方が多い傾向に。

住まいを探した際に、メールや電話で問い合わせをした不動産会社数、訪問した不動産会社数、内見した物件数を聞いたところ、学生・社会人ともに最多回答は、問い合わせ社数1社・訪問社数1社、また内見数は1～3物件となりました。なお平均は、下記のとおり、学生より社会人の方が多く、また内見数が社会人男性2.15件、女性2.83件となるなど、全般的に男性より女性の方が多く見られました。

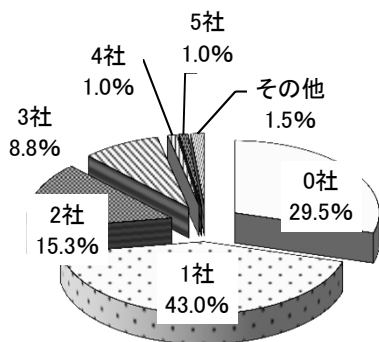
メールや電話で問い合わせ
をした不動産会社数は？

訪問した
不動産会社数は？

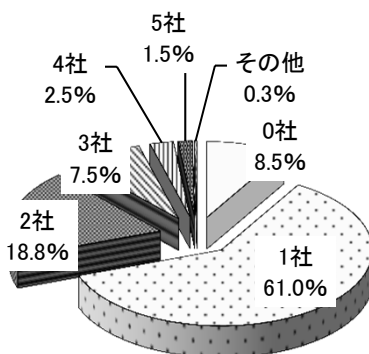
内見した
物件数は？

学生

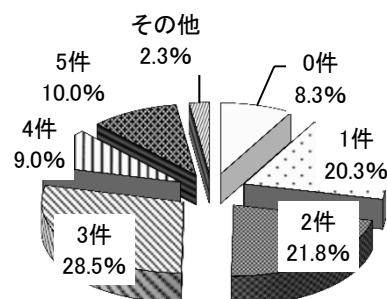
●全 体 (N=400)
平均1.10社



●全 体 (N=400)
平均1.39社

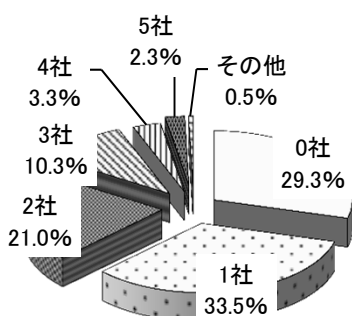


●全 体 (N=400)
平均2.41件

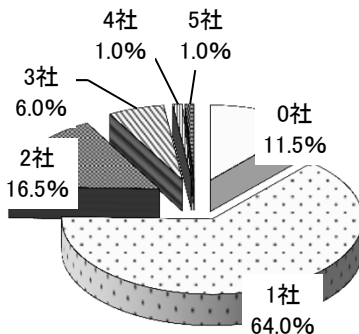


社会人

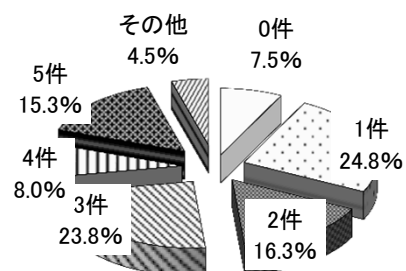
●全 体 (N=400)
平均1.31社



●全 体 (N=400)
平均1.54社



●全 体 (N=400)
平均2.48件



⑤ 不動産会社を選んだポイントは？（複数回答・トップ5）

学生

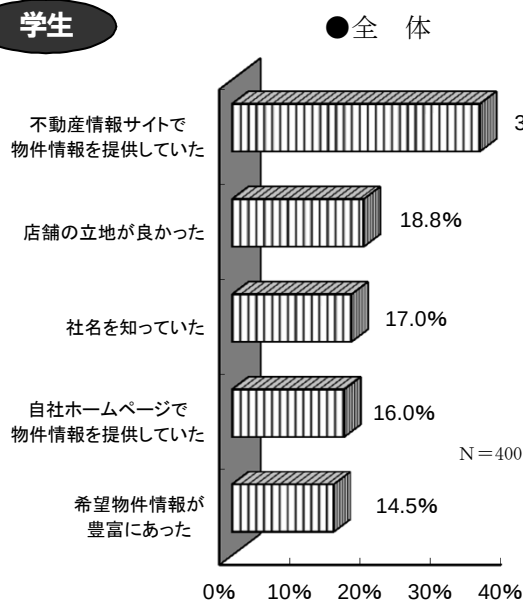
社会人

不動産会社を選んだポイント、トップは「不動産情報サイトで物件情報を提供」。次いで、学生は「店舗の立地」、社会人は「社名を知っていた」に。

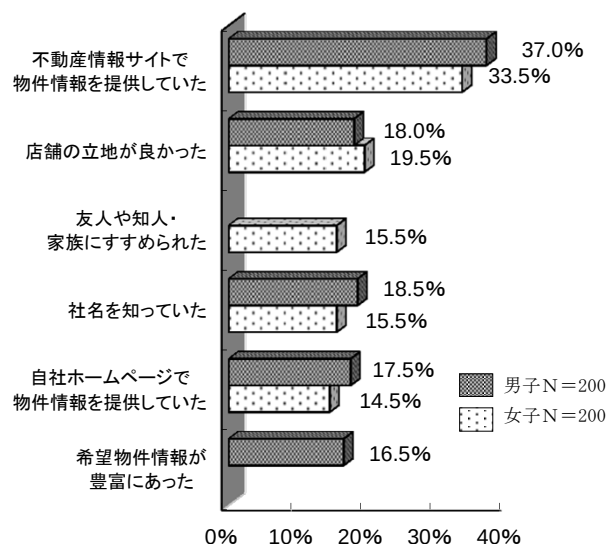
不動産会社を選んだポイントのトップは「不動産情報サイトで物件情報を提供していた」で、学生の35.3%、社会人の39.8%が回答。次いで、学生が「店舗の立地が良かった」、社会人は「社名を知っていた」となりました。

また社会人女性は、「社名を知っている」ことを不動産会社選びのポイントとしている人が23.0%と、男性より多くなっています。女性は、ファミリー層においても住まい選びの中心になっていることから、今後はホームページや店頭など、社名をアピールできる媒体を効果的に利用していくことが重要になりそうです。

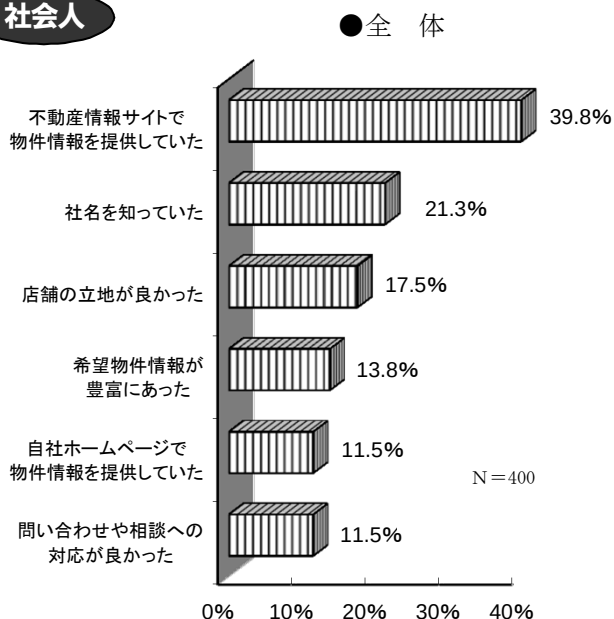
学生



●男女別



社会人



●男女別

